

患者さん中心の透析医療を追い求めて。

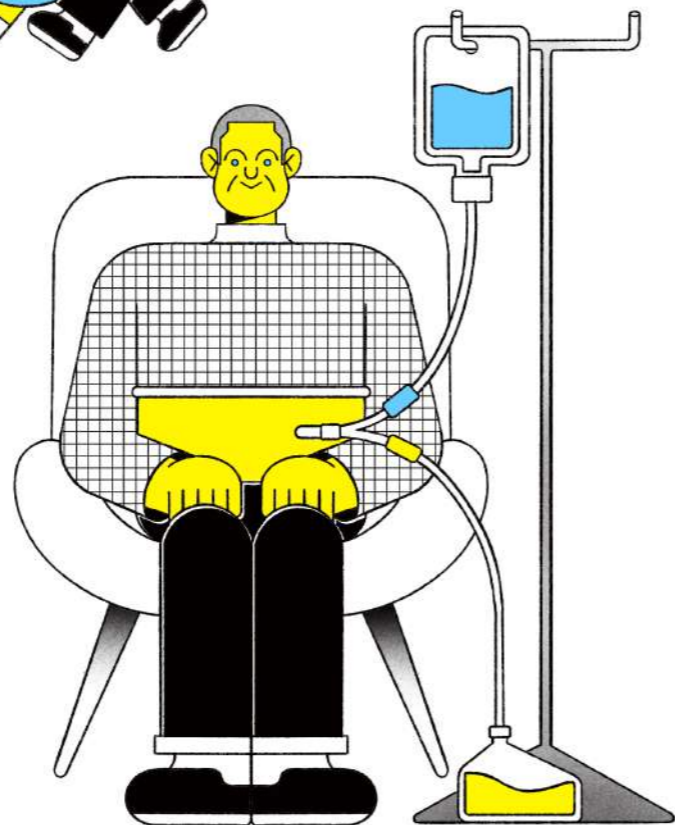
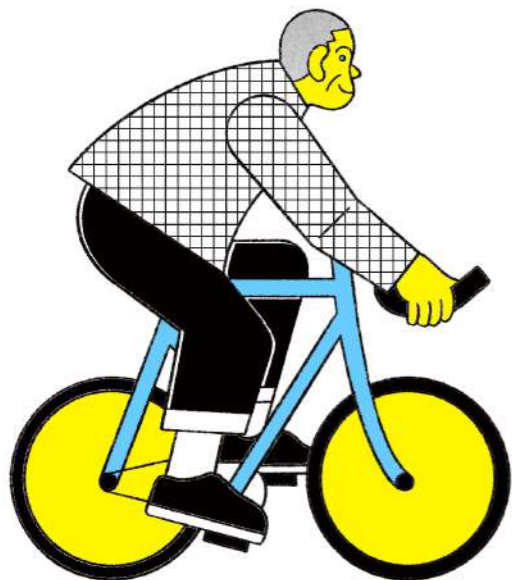
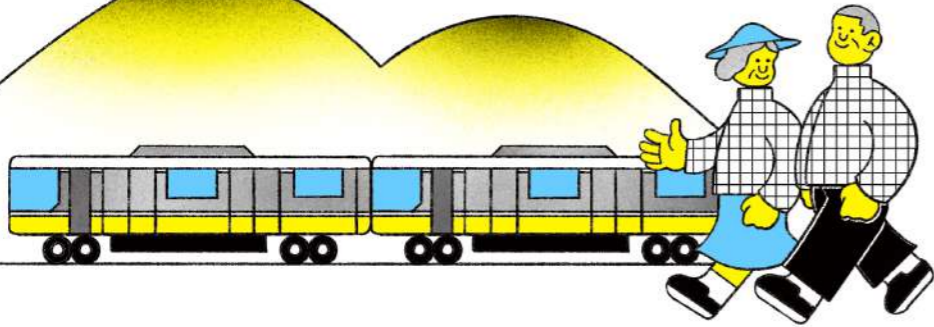
ONE!

Kokuradaichi hospital

2022

VOL. 007

NOVEMBER



ONE! 007

2022年11月16日 ライフスタイルに対応した腹膜透析

小倉第一病院 思い出の一丁目一番地

私のONE!



腎臓内科 人工透析内科
副院長

鶴田 宏

プロフィール

2013年より副院長に就任。頭も体も柔らかく、なるべくわかりやすい説明を心がけて診療に取り組む

これからも、職員と協力して、病院を発展させていきたいと考えています。

第1期は昭和57年頃、九大腎臓研究室で故中村定敏先生から湯布院の別荘に全員招待がありました。この時、バーベキューの肉の美味しかったことが思い出されます。第2期は福岡赤十字病院に勤務時代、昭和62年頃、お手伝いに行かせてもらっていました。小倉第一病院の印象は臨床工学技師や看護師のプロ意識が高く、よく仕事をするなど感じていました。第3期は平成4年から製鉄記念八幡病院の勤務時代です。透析患者の合併症のため、小倉第一病院から紹介されることが多く、勉強になることが多かったです。第4期は製鉄記念八幡病院を退職し、平成25年から小倉第一病院に就職した時期です。旧病院は狭いのが難点でした。令和3年11月15日に中村秀敏院長のもとに新病院が完成しました。広いスペースがあり、気持ちよく仕事ができます。また、隔離透析室、個室もあります。また、新型コロナウイルスの時期にも、威力を発揮しました。これからも、職員と協力して、病院を発展させていきたいと考えています。



医療法人真鶴会 小倉第一病院

〒803-0846 福岡県北九州市小倉北区下道津1丁目12-14

TEL:093-582-7730 FAX:093-592-7689

発行 / 小倉第一病院

【今回の特集】

腹膜透析は通院回数を月1~2回程度に減らすことができます。さらに、透析やバッグの交換自体は自宅以外でもできるので社会復帰も難しくなく、国内旅行や海外旅行も可能になります。しかし、ご自分の管理が重要な治療法でもあるため、導入をサポートする医療体制が重要となります。



catheterization

CASE 1

医療連携によるカテーテル挿入術

腹膜透析は自分の腹膜を透析装置として腹腔内に透析液を出し入れすることにより、血液中の老廃物や余分な水分を取り除く方法です。そのためにはお腹にカテーテルと呼ばれる医療用の管を挿入する必要があります。現在は連携医療機関にカテーテル挿入術をお願いしていますが、2021年に腎臓外科医が着任したことで先々は自院でも実施していく予定としています。

detailed instruction

本人や家族へのきめ細かい透析指導

腹膜透析は「腹膜炎」や「トンネル感染」などのトラブルを予防することが重要です。清潔な状態でバッグ交換やカテーテルケアの手技を行うために、自宅の環境を整えたり、正しいマスクの着用方法や手洗いの手法を理解してもらいます。そのうえでバッグ交換やカテーテルケアの手技、入浴時の対応、毎日の測定と記録など、ご家族も患者さんを支援できるように指導しています。

CASE 2



functional test

CASE 3

腹膜機能検査 (PET検査)

腹膜透析の継続期間は約5年から8年となっており、定期的に腹膜の状態を把握しておく必要があります。患者さんの「今の腹膜の状態」を把握するために必要なのが定期的な腹膜機能検査です。腹膜透析液の排液と採血のみを使用し、腹膜の機能低下がないかなどの変化を確認します。当院では年に1回検査を実施しています。



Lifestyle × Peritoneal dialysis

ライフスタイルに対応した腹膜透析

当院は血液透析だけではなく、腹膜透析の管理体制も整えています。現在、国内で透析治療を受けている患者さんで腹膜透析を行なっているのは3%程度で世界的に見ても低い水準になっています。腹膜透析を実施できる医療機関・医療スタッフが限られていることが原因の1つです。当院では症状やライフスタイルに合わせて腹膜透析の導入にも取り組んでいます。

